

iPad活用事例

文唱堂印刷株式会社様



活用事例
その1

基幹システムをiPadで使い、大幅に時短!

その場で入力・確認が出来るようになり、**営業1人あたり約20時間/月削減!**

どこにいても、すぐ
その場で作業が出来る!



これまでPCで使っていた基幹システムをiPadで使うことで、移動時間や確認の手間を**大幅に削減!**

メインで使っている基幹システムをiPadでも使えるようにしたことで、以前は事務所のPCを使わないとできなかった受発注管理や入力、進捗確認や見積りの作成などが、**iPadひとつで出来るようになりました。**

営業マンや管理職など外に出るスタッフは、どこでも確認や入力ができるようになったことで、**1日およそ1時間**の削減に繋がりました。現場のスタッフも、1日約30分は削減されています。iPadは**社員全員と一部のパートスタッフにも貸与**しているので、全体だとかなり大きな削減です。

また、システム上で作業時間を計測する機能も追加。仕事のブラックボックスがなくなり、仕事の**スピードも質も大幅に向上**しました!

活用事例
その2

情報共有のスピードが大幅にアップ!

共有方法を用途によって切り分け。部長への電話が**1日100件→5~6件に!**

通常連絡はChatwork、重要・急ぎの用件だけ電話と切り分けることで、生産性がUP!

ツールを切り分けることで
重要な情報がより早く
伝わるようになった!

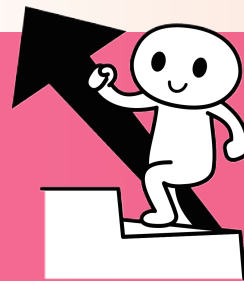


以前はなんでも電話で確認していたため、部長のもとには1日約100件の電話がかかってきていました。ほとんど電話対応だけで1日過ぎてしまうような日も。また、口頭では履歴が残らないので、うまく伝わっていないこともありました。

iPadを導入してからは、**Chatwork**で情報が流れるようになりました。最初はなかなか見てくれないスタッフもいましたが、そこでしか流さないというルールになったことで、**強制的に全員が見るよう**になりました。

今では電話は**1日に5~6件**程度。特に重要なものや、緊急のものだけ電話が鳴るようになったので、部長も現場も**生産性が大幅にアップ**しました。

iPadでの作業とPCでの作業、Chatworkでの情報共有と電話連絡など、用途や環境によってツールを使い分けることで、業務の生産性が大幅にアップ!



お 客 様 の 声

文唱堂印刷株式会社 様

東京都千代田区にて、1927年に創業。以来90年以上にわたり、印刷業界の最前線で活躍され続けている企業様です。企画・デザインから物流まで幅広く手がけられ、様々な業種業態のお客様から支持されています。2016年には、町屋工場が「第15回印刷産業環境優良工場表彰」において経済産業大臣賞を受賞され、印刷業界の模範となる環境優良工場であると評価されています。



アナログとITをうまく使い分けるには、ルールが必要。
双方の良さを活かして、働き方改革を目指しています。

文唱堂印刷株式会社
経営管理部・総務部 部長
池谷 崇 様

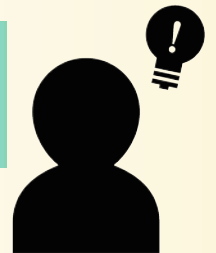


導入前、どのような課題がありましたか？

特に情報共有に課題がありました。なんでもかんでも電話を使っていたので、私なんかは電話を受けてそれを流すということが仕事になってしまうこともありましたね。1日100件ほど電話がかかってきていたので…。しかも、いつも電話で話しているので、営業や現場スタッフからの電話が空振りになることも。当時はそれが当たり前でしたが、今思えば無駄な時間がすごく多かったですね。

導入に至った決め手はなんでしたか？

最初の目的は情報の共有化と時間削減です。基幹システムを使うので、iPhoneよりも画面の大きなiPadを選びました。一部のスタッフにだけ貸与するのではなく、一斉にスタートしなければ浸透しないだろうと考え、全社員と主力のパートスタッフに貸与しました。



現場ではどのような声がありましたか？

今では不満の声はほとんど聞かないですね。ですが最初は、なかなか使ってくれないスタッフもいました。iPadを持ってこいと言ったら、購入したときの箱のまま持ってきたスタッフもいました(笑)。ですが、もう情報はここでしか流さない決めてしまえば、必然的に見るようになりましたね。慣れれば便利だということが分かるので、自然と定着しました。

貴社でiPadを使うメリットは何ですか？



やはり時間削減と情報共有ですね。PCよりも立ち上がりは早いし、画面が大きいからある程度の作業はどこでも出来る。そのおかげで、わずかな隙間時間を活用できるようになりました。ただ、PCのほうが得意な作業ももちろんあるし、Chatworkだけでコミュニケーションを取ることはできない。やはり、用途によってツールを使い分けることと、ルールを決めることが重要だと思います。

今後の課題や、新しい活用方法はありますか？

やはり便利になった分、セキュリティ上の危険性は感じています。MDM(端末管理システム)を入れてはいますが、それだけではなく色々と利用制限のルールなども必要な、と思っています。また内勤の場合は、今後デュアルモニターとしてもっと活用したいですね。あとは更に台数を増やして、便利な使い方を共有し、全員が同じレベルで使えるようにしていきたいですね。



株式会社エヌエスケーケー

〒657-0037 兵庫県神戸市灘区深田町4丁目1-1 ウェルブ六甲道 2番街 5階

TEL:078-822-6111 FAX:078-822-6112 Mail:houjin@nssk.ne.jp URL:https://ictsupport.nssk.ne.jp/

